

感染症科を受診している患者さんへ

当科では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会において、ヘルシンキ宣言の趣旨に添い、人を対象とする医学系研究に関する倫理指針、ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針等を遵守し、医の倫理に基づいて実施されることが審査され認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。もし、この研究に関するお問い合わせなどありましたら、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。

記

研究課題名	ヘリコバクター感染症に関する研究
研究機関名	愛知医科大学病院
研究機関の長	病院長 藤原祥裕
担当科等	感染症科
研究責任者	准教授 小泉祐介
試料・情報を利用する 学外の研究機関名・研究責任者名	国立感染症研究所 細菌第二部 主任研究官 林原 絵美子
研究の意義・目的	ヘリコバクター・ピロリ(ピロリ菌)などのヘリコバクター属菌は人の胃に生息する細菌で、胃炎や消化性潰瘍等病気の原因となります。この研究はあなたから分離されたヘリコバクター属菌の病原性や薬剤耐性を解析することで、この細菌の診断法、治療法、感染予防法を明らかにすることを目的にしています。
対象となる患者さん	倫理審査承認日から 2022年8月31日までにヘリコバクター属菌が分離・検出された患者さん
研究の方法	対象となった患者さんから検査のために採取した臨床検体(血液、組織)、その検体から培養した細菌を用いて、どのようなタイプの菌なのか、どんな薬剤が効くのか、どのような病原性があるのかを詳しく調べます。 ※患者さんご自身が研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧することは可能です。ご希望の場合はできること並びに入手・閲覧を希望する場合には下記問い合わせ先に、電話もしくは手紙にてご連絡下さい。
研究期間	倫理審査承認日 ～ 2022年8月31日
研究に用いる試料・情報	試料：血液、組織 情報：診療情報から病歴情報、検査データ、画像所見などを使用します。
外部への試料・情報の提供	研究で得られた試料は国立感染症研究所 細菌第二部に提供します。
試料・情報の利用又は提供を希望しない場合	本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、下記問い合わせ先まで申し出てください。
問い合わせ先	愛知医科大学病院 感染症科 担当者：(職名) 准教授 (氏名) 小泉祐介 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1 電話 0561-62-3311 (内線 34253)